

平成31年度の取組予定

「野洲川および甲賀・湖南圏域の取組方針」に基づく平成31年度の取組予定

資料 4-1

(○:目的達成に向けて平成31年度実施する事項、継続:継続的に実施していく事項)

課題	取組番号	取組内容	目標時期	草津市	守山市	栗東市	野洲市	湖南市	近江八幡市	甲賀市
----	------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----

①逃げ遅れをなくすための避難行動、長期的な避難のための取組

■避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等

C	1	広域的な連携に資するタイムラインへの見直し	H30年度	○	継続	継続	○	継続	○	○
C	2	避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善(活用訓練等の実施)	H28年度から順次実施	○	※	○				○

■ハザードマップの作成・周知等

D	8	想定最大規模の洪水浸水想定区域を考慮したハザードマップの更新(避難経路の追加等)および周知	H29年度から順次実施	○	H32年度以降更新予定	H32年度以降更新予定	H32年度以降更新	○ H32年度以降更新予定		H32年度以降更新予定
E	9	長期間に及ぶ浸水継続地域、野洲川上流や日野川等の氾濫も想定した広域的な避難計画の作成	H32年度	○	●	○	○	継続	○	○
G	11	逃げ遅れをなくすため、高齢者及び避難行動要支援者の避難計画の作成	H32年度	○	モデル市の取組状況や国・県の支援等を受けて実施	○	○	モデル市の取組状況や国・県の支援等を受けて実施	○	○
G	13	避難誘導マニュアルの作成	H28年度から順次実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続

■防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充

H	14	防災に関する補助教材を活用した小中学校と連携した防災に関する出前講座の取組み	H28年度から順次実施	継続	継続	継続	継続	継続		○
H	15	水災害に対する防災教育に関する指導計画の作成支援および協議会の関連市における全ての学校への共有	H30年度から順次実施	○	モデル市の取組状況や国・県の支援等を受けて実施	継続	継続	モデル市の取組状況や国・県の支援等を受けて実施	○	○
H	16	小学生等を中心とした避難経路の安全利用点検	H29年度から順次実施	継続	継続	継続	継続	継続		○
H	17	「我が家の避難カード」の作成	H29年度から順次実施	継続	継続	継続 H26に作成・全戸配布、H31以降に再度作成予定	継続	継続		○
H	19	避難行動に資する「まるごとまちごとハザードマップ」の整備、計画作成等	H29年度から順次実施		※					
H	20	地域住民と連携したサイクリングによる避難経路・野洲川周辺の現地調査	H29年度から順次実施		※					

□ : 協議会全体の取組 □ : 国または県と協働した取組

(○:目的達成に向けて平成31年度実施する事項、継続:継続的に実施していく事項)

課題	取組番号	取組内容	目標時期	草津市	守山市	栗東市	野洲市	湖南市	近江八幡市	甲賀市
■避難行動のための情報発信等										
F	21	避難情報を各世帯へ確実に届けるため防災行政無線等の普及(無線のデジタル化等)	引き続き実施	継続	継続 登録制メール、災害協定メールに加え、本市に適した情報伝達手段を検討中	継続 移動系防災行政無線はH31整備(デジタル化)	継続	継続		継続
F	22	避難情報を対象者へ確実に届けるためにケーブルテレビや防災メールへの登録、配信サービスやSNSの活用等	H32年度	継続	継続 約7,400人がメール登録・協定により約15,000人に配信	継続 約2,800人がメール登録	継続	継続	継続	継続
F	24	道路付帯施設(照明柱等)への避難誘導表示の整備	H29年度から順次実施	継続	継続	継続	継続	継続		継続

②確実な避難時間の確保、浸水被害軽減のための水防活動の取組

■水防体制の強化

I	28	水防団員や消防団員の募集の強化	引き続き実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続
I	29	自主防災組織の活用、強化(組織の育成や立上げサポート等)	引き続き実施	継続	継続 71自治会全てで結成済	継続 124自治会中123自治会で結成済み	継続	継続	継続	継続
I	30	水防技術に関する勉強会の実施	H29年度から順次実施	継続	継続 毎年、防災訓練時に実施	継続 毎年実施	継続 毎年実施	継続		
I	31	ロールプレイング方式による情報伝達訓練の実施による連絡体制の強化・確認(タイムラインの活用)	H29年度から順次実施	継続	継続	継続	継続	継続		○
J	32	市を越えた水防訓練の検討(広域避難計画の作成後に訓練を実施予定)	H28年度から順次実施		△調整中		継続		継続	
J	33	防災組織の連絡が迅速かつ円滑に行えるMCA無線の整備	H28年度	継続	継続 整備済	継続 17台を維持管理	継続			

■水防活動支援のための情報公開、情報共有

K	34	重要水防箇所の情報共有と関係市による共同点検(国管理区間)	引き続き実施	継続	継続	継続	継続	継続		
K	35	重要水防箇所について5ヶ年点検計画を作成し、河川管理者と関係市により共同点検(県管理区間)	H33年6月	○	○	○	○		モデル市の取組状況や国・県の支援等を受けて実施	○
K	36	水防資機材について、河川管理者、水防活動に関わる関係者が共同して点検を実施	H30年度から順次実施				○			○

□ : 協議会全体の取組 □ : 国または県と協働した取組

(○:目的達成に向けて平成31年度実施する事項、継続:継続的に実施していく事項)

課題	取組番号	取組内容	目標時期	草津市	守山市	栗東市	野洲市	湖南市	近江八幡市	甲賀市
----	------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----

■適切な土地利用の推進

K	38	水防管理者による浸水被害軽減地区の指定及び複数市に影響がある地区の課題共有と、連携した指定	H30年度から順次実施		※					
---	----	---	-------------	--	---	--	--	--	--	--

■市庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進

L	42	浸水想定区域内の施設管理者への情報伝達体制・方法検討	H30年度から順次実施	○	※	○		継続		○
L	43	市庁舎や災害拠点病院等の機能確保に関する情報と対策の実施状況の共有	H30年度から順次実施		※	○		継続		○

■河川水位等に係る情報の提供

L	46	危険性の高い中小河川における避難判断の目安の検討	引き続き実施	○			○			
---	----	--------------------------	--------	---	--	--	---	--	--	--

③生活再建、社会経済活動を一刻も早く回復させるための復旧活動の取組

■排水活動及び施設運用に関する取組

M	49	基地被災時を想定した衛星通信車や対策本部車を利用した訓練の実施	H29年度から順次実施			○		継続		
M	51	浸水が4週間以上に及ぶ湖岸地域の早期復旧に資する資機材の広域的な輸送計画の作成	H32年度	○	モデル市の取組状況や国・県の支援等を受けて実施	○		継続	モデル市の取組状況や国・県の支援等を受けて実施	
M	52	広域的に資材を運用するための調整の実施	H28年度から順次実施	○	モデル市の取組状況や国・県の支援等を受けて実施	○		継続	モデル市の取組状況や国・県の支援等を受けて実施	

□ : 協議会全体の取組 □ : 国または県と協働した取組

平成31年度ホットライン説明資料

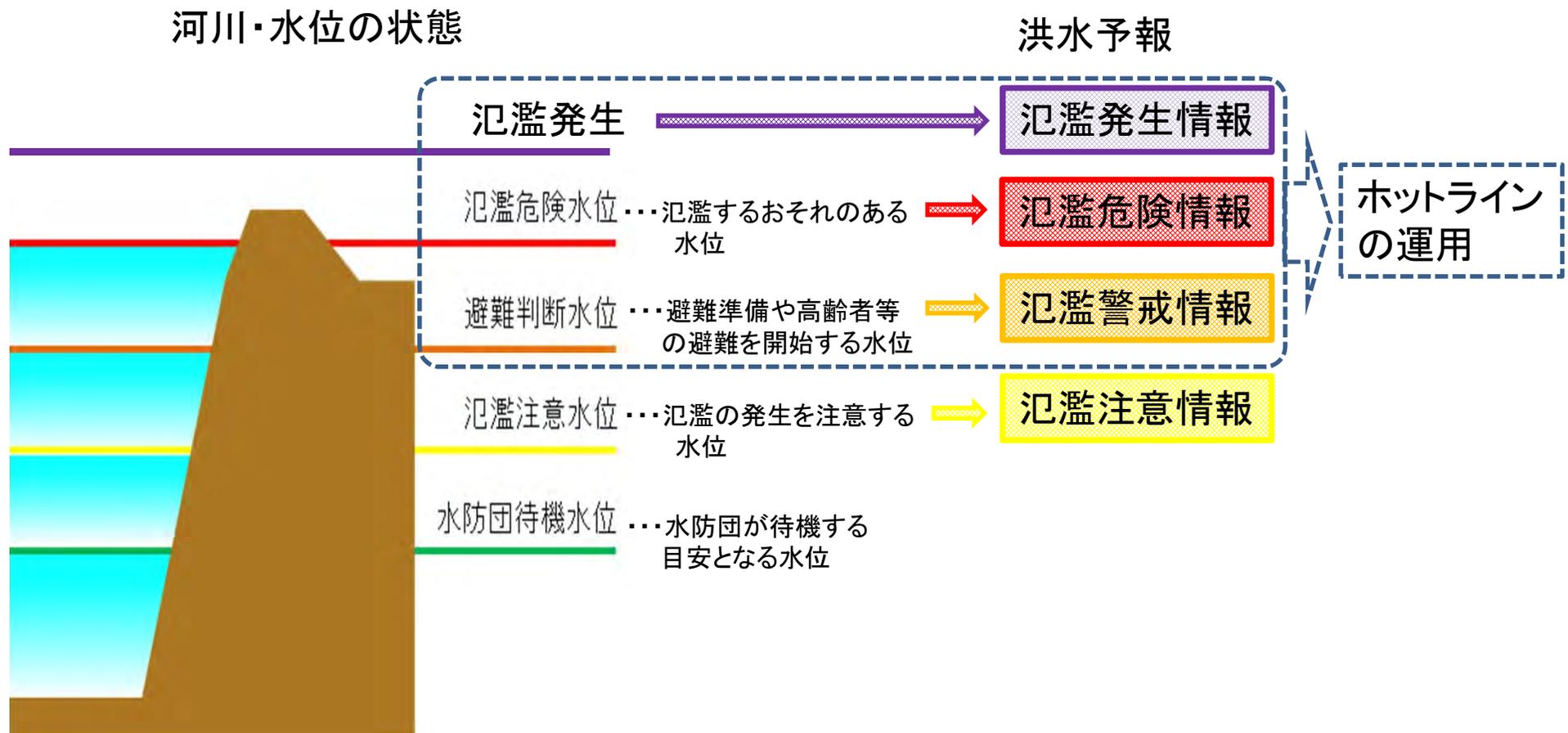
野洲川および甲賀・湖南圏域版

<取組4>

洪水予報河川・水位周知河川について

洪水予報河川:野洲川下流(野洲観測所【国】)、野洲川上流(横田橋・水口橋観測所【県】)
 杣川(北杣橋観測所【県】)、日野川(桐原橋・安吉橋観測所【県】)

水位周知河川:草津川(西矢倉観測所【県】)



水位観測局位置図(野洲川および甲賀・湖南圏域)

- 避難の基準水位は複数の観測所で設定されています。

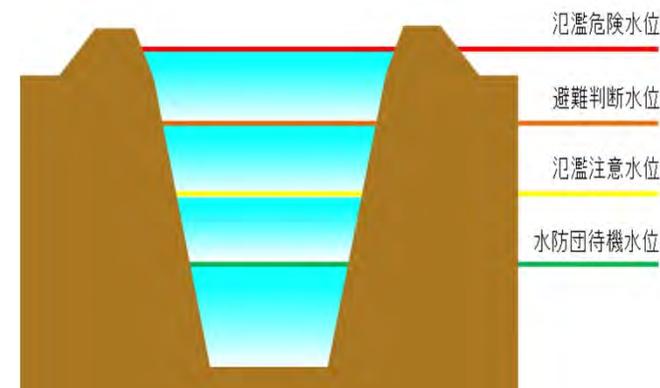


ホットラインの具体的な運用 <取組4>

河川管理者(国・県)	市町		
水位・情報	双方向のホットライン		発令等
氾濫危険水位	琵琶湖河川事務所長 土木事務所長	市長 (副市長・部長)	避難勧告
避難判断水位	琵琶湖河川事務所長 土木事務所 河川砂防課長	防災担当課長	避難準備・ 高齢者等避難開始
氾濫注意水位			消防団が出動
水防団待機水位			消防団が待機

ホットラインの主な内容

- ◆ 現状到達水位、予想到達水位情報
- ◆ その時点で判明している河川の損壊箇所や浸水発生等の情報



水位の名称	発表される避難情報(目安)	野洲川下流	野洲川上流		杣川	日野川		草津川
		野洲	横田橋	水口橋	北杣橋	桐原橋	安吉橋	西矢倉
氾濫危険水位	避難勧告 避難指示(緊急)	4.80	3.90	1.45	4.00	5.10	4.10	4.30
避難判断水位	避難準備 ・高齢者等避難開始	4.30	3.50	1.20	3.50	3.80	3.40	3.40
氾濫注意水位	消防団が出動	3.50	2.50	1.00	3.00	3.00	2.70	3.10
水防団待機水位	消防団が待機	2.50	1.50	0.65	2.00	1.80	1.80	2.30
避難判断水位から氾濫するまでの想定時間			4時間	3時間	3時間	2.8時間	2時間	4.5時間

ホットライン・緊急速報メールの配信のタイミング <取組26>

● 緊急速報メールの配信

河川名	基準観測所 (位置)	配信対象市町村
瀬田川	関ノ津 (大津市)	大津市
	鳥居川 (大津市)	
野洲川	野洲 (野洲市)	近江八幡市、草津市、 守山市、栗東市、 野洲市、湖南市

緊急速報メール配信
④河川氾濫のおそれ
⑤河川氾濫の発生



(件名)
河川氾濫のおそれ

(本文)
〇〇川の〇〇観測所(〇〇市)付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。
本通知は、近畿地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。
(国土交通省)

プッシュ型配信
配信内容【見本】

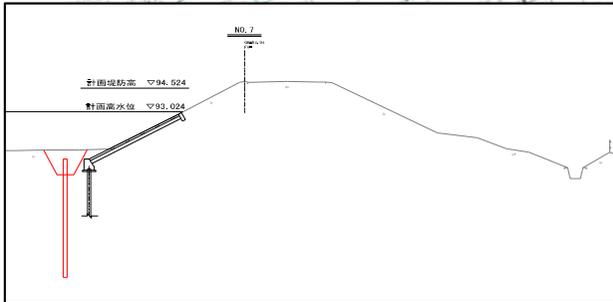
● 河川水位と洪水予報など



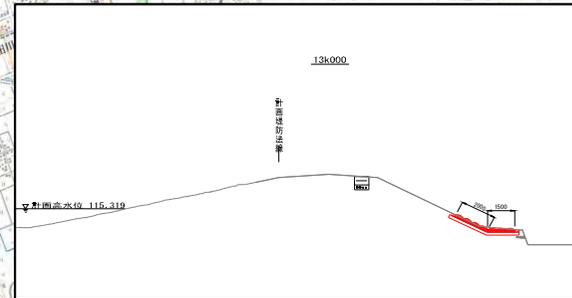
※ 水防警報は、野洲川では野洲観測所の水位を発令の基準にしています。

■ 野洲川(国管理区間)においては、3箇所にて危機管理型ハード対策を施工予定

新庄地区 堤防補強工事
右岸4.0k付近



南櫻地区 法尻補強工事右
岸岸13.0k付近



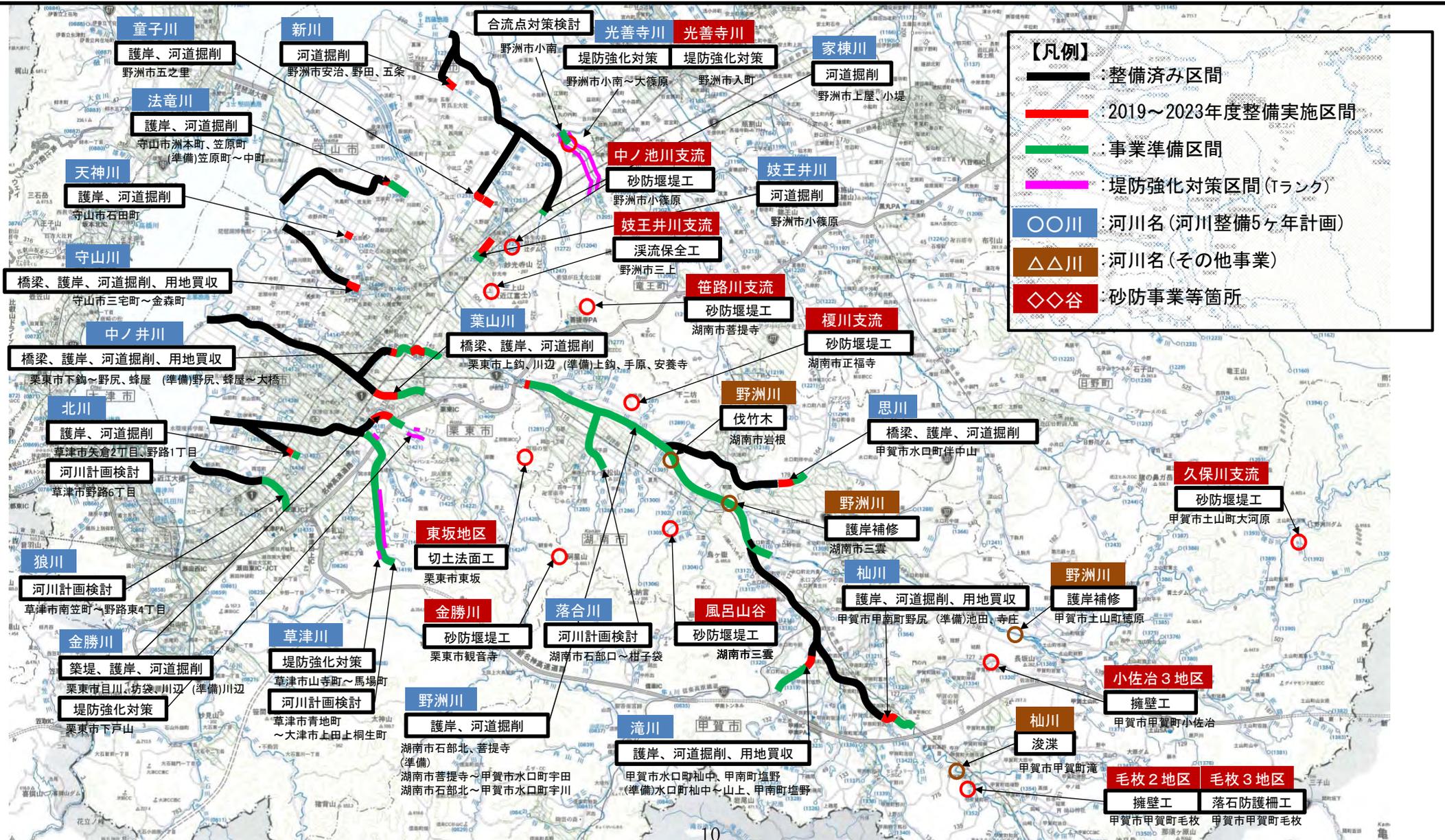
川田地区 法尻補強工事
左岸6.4k付近



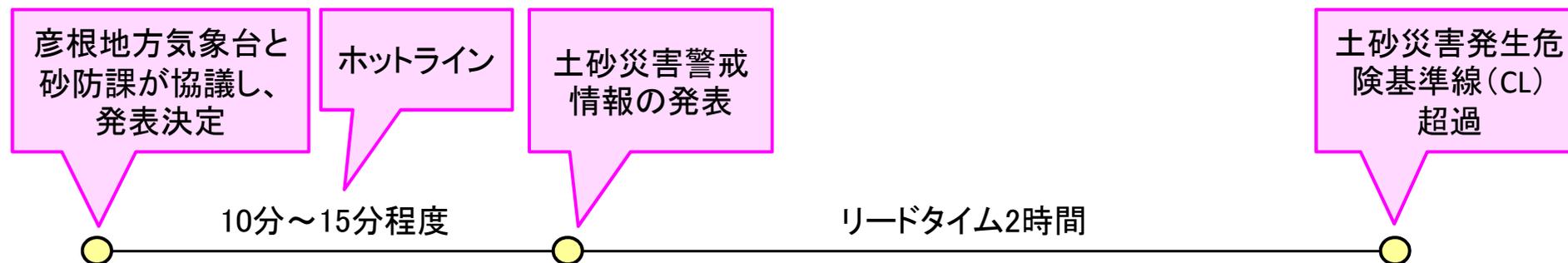
ハード対策の主な取組（県管理河川、土砂災害防止施設）

<取組54> 「滋賀県河川整備5ヶ年計画（平成31年3月）」に基づく県管理河川の改修および堤防強化【引き続き実施：滋賀県】
土砂災害防止施設の整備【引き続き実施：滋賀県、栗東市、甲賀市】

<取組57> 「南部土木事務所管内維持管理計画」、「甲賀土木事務所管内維持管理計画」に基づく維持管理【引き続き実施：滋賀県】

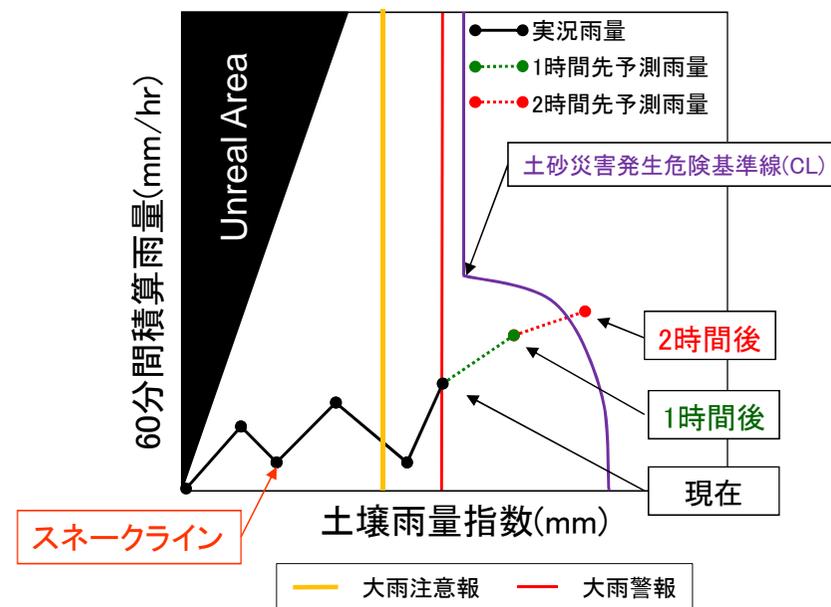


「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画に基づく取組内容	実施時期	取組機関
・土砂災害に関するホットラインを構築する	2019.6まで	7市 滋賀県



・彦根地方气象台と砂防課が協議し、**土砂災害警戒情報の発表が決定した時**、ホットラインを実施
 早期の避難勧告等発令判断に活用

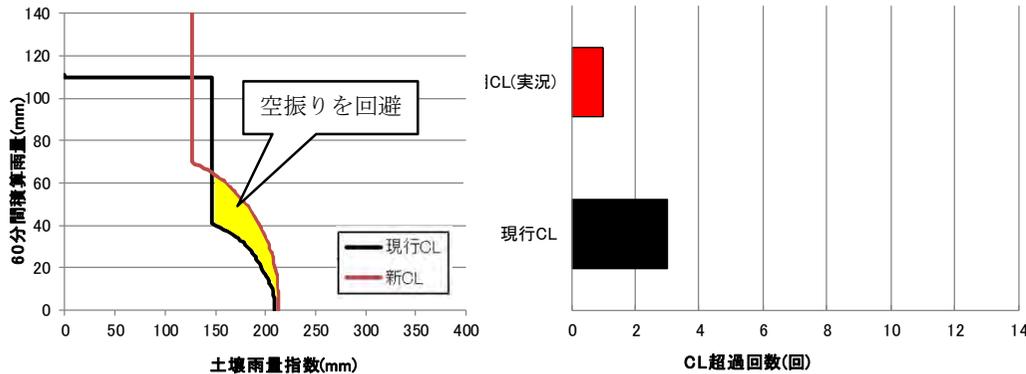
県		市 町	
情報	双方向のホットライン		発令等
土砂災害警戒情報の発表	砂防課長 or 砂防課職員	市町長 or 市町防災職員	避難勧告



2019年度取組内容 土砂災害

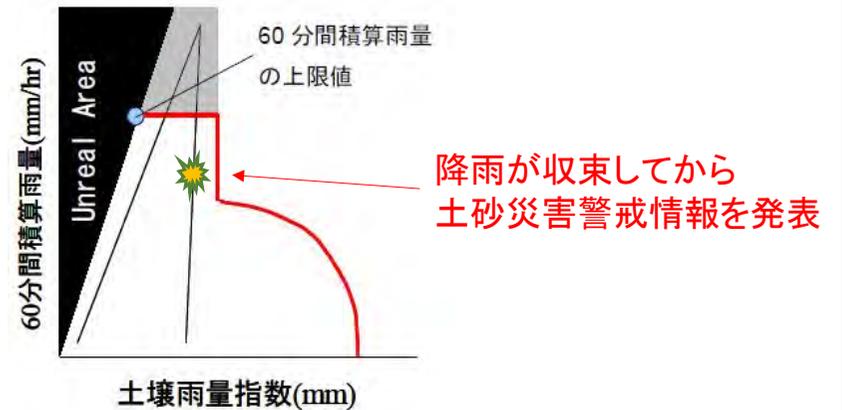
「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画に基づく取組内容	実施時期	取組機関
・土砂災害警戒情報の精度向上を図る。	引き続き実施	彦根地方気象台 滋賀県

新しい災害危険基準線(CL)の見直し



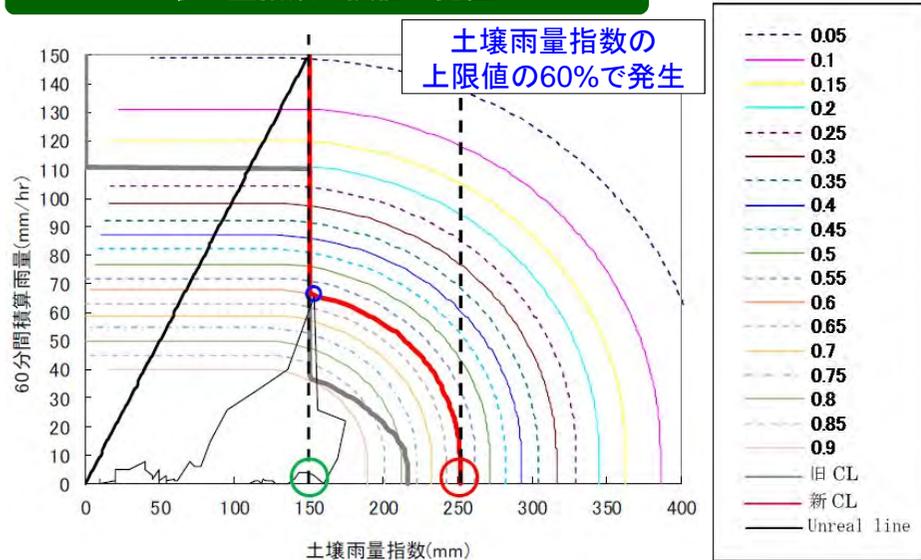
新基準による見直しの効果

60分間積算雨量の上限値の見直し



60分間積算雨量の上限値の考え方のイメージ

土壌雨量指数下限値の見直し



土壌雨量指数下限値の設定の考え方

除外格子設定の見直し



2019年度取組内容 土砂災害

「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画に基づく取組内容	実施時期	取組機関
・新たに判明した土砂災害リスク箇所について基礎調査を完了し公表する。	2020.3まで	滋賀県

基礎調査スケジュール

業務	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4~
基礎調査(危険箇所)	■					
新規箇所抽出	■	■				
基礎調査(新規箇所)		■	■	■	■	■
区域指定	■	■	■	■	■	■

基礎調査(新規箇所)箇所数

市町	調査箇所数
近江八幡市	35
草津市	39
栗東市	80
野洲市	18
合計	172

危険箇所以外のリスク箇所例



航空写真の比較によるリスク箇所の抽出例

◎市町所有の航空写真等を活用し効率的に抽出を行う。



新規開発に伴う新たなリスク箇所